



野々下 昌文 議員

### 学校給食センター建設事業について

**問** ロシアのウクライナ侵攻も長期化する中、資源・資材の高騰が予想される。予算、工期等についての考えを問う。

**答** 給食センターの設計業務については、資材高騰の影響から建設事業費は計画当初の約2倍で提示をされた。

4月～5月の2か月で、建物のダウンサイジングや資材のグレードダウンを図り、約1・6倍までの事業費の圧縮に取り組んできた。実施設計の完了は本年の12月を予定しており、建設工事の発注については、貴重な財源を有効に使うため、高騰する建設資材の推移を見据え、適切な工事着手のタイミングを慎重に判断していきたい。

### 地方創生臨時交付金の活用について

**問** 6月議会の補正予算で給食材料費、食糧費高騰対応分が計上されている。この計上理由、および対象期間について問う。

**答** コロナウイルス感染症の長期化に加え、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻の影響を受け、化石燃料関係、鉱物、食材料の価格が高騰し、宿毛市の給食材料でも、生鮮野菜、副食原材料となる魚や肉の価格が高騰しており、材料の質や提供する量、児童生徒の好む副食に比べていくとが困難となり、学校給食費の値上げを検討せざるを得ない状況を迎えた。しかしながら、コロナ禍で疲弊した経済状況下、子育て世帯の負担増は避けるべきと考え実施した。交付金の対象期間は、令和5年3月31日までではあるが、本市としては、国の動向に注視しつつ、経済の回復が見られない段階で、子育て世帯の負担等は避けたいと考えている。

### アピアランスケアについて

**問** がんの治療を受けながら、これまでどおり安心して暮らし続けられる社会を構築するため、薬剤性脱毛、治療による脱毛に悩むがん患者のウイッグについて、購入の際に市としての助成ができないか問う。

**答** 治療を行っていく上で生じる脱毛や肌の色の变化、傷跡など、外見の変化はがん患者の方に大きな苦痛を与えることは理解しており、アピアランスケアは、がん患者の方が前向きに治療に向き合い、治療後も安心して生活を送るために重要であると認識している。

ウイッグの購入費助成については、がん患者の方の精神的な苦痛を和らげることだけでなく、経済的負担を軽減する施策になると認識しているが、がん対策の基本は、公平性のある助成制度とすることが適切であると考慮しており、国・県の動向を踏まえ、他市町村などの状況等について調査研究をしていきたいと考えている。

### 希望ヶ丘関連施設について



高倉 真弓 議員

**問** 進入道路について問う。

**答** 国道56号線には、県道宿毛城辺線との接合部の南北に案内板を、高台登り口T字路の案内看板は、県に要望をし、今年秋頃に設置予定。

**問** 来客駐車場について対向車線の車両が膨らみ、危ない現状を見た。東側山際に出口を設け出入りを分けては如何か問う。

**答** 間口が狭いといった声を頂いており、現在、緑石にラバーポールを設置している。ご提案の通路整備については、今後状況を見る中で検討する。

**問** 新庁舎に不備はないか問う。

**答** 業務を開始する中で実際

に働き気がついた点は、総務課にて集約。階段の点字シートが浮いている事や案内サインが分かりにくいと言った指摘があった。随時対策を講じている。

**問** きぼうが丘保育園の内覧会の時、園庭の手洗い場のタオル仕上げが気になった。今日まで気がついた事はないか問う。

**答** 開園後に管理システムのセンサーに軽微な不具合があり、機器の設置場所を移動させる改修があった。ご指摘の手洗い場や靴箱等には、コーナークッションを貼る等の対応をしている。

**問** 隣接建設予定の国・県関連施設について現況と安全対策を問う。

**答** 高台に移転する機関については、宿毛警察署及び幡多土木事務所宿毛事務所と宿毛漁業指導所の合同庁舎が令和6年度に、宿毛海上保安署が令和7年度に完成し、移転する予定と聞いている。発注者である国・県に安全対策を第一に講じて頂く事は勿論の事、保育園や市役所が隣接すると